

行財政局 外海 開三 (東灘区)

外海 議員 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、新たな施策を展開するための財源確保が課題であり、徹底した行財政改革を実施すべきと考える。本市においては「行財政改革方針2025」を策定しており、目標の完遂と進捗状況を踏まえ、更なる高い目標の設定など、徹底した行財政改革の推進を全庁挙げて実施すべきと考えるがどうか。



▶**岩崎局長** 今後、状況に応じて目標設定を見直していかなければならないと思う。財政の健全性を保ちつつ、将来にわたって持続的な発展を遂げるために、徹底した行財政改革を進めていきたい。

福祉局 川口まさる (灘区)

川口 議員 監査委員による決算審査意見において「債権管理の意識が希薄な所属が見受けられる」との指摘がなされている。全市的な課題だと受け止めているが、複数の債権管理を担っている福祉局においては、どのようにして債権管理に取り組んでいるのか。



▶**小林副局長** 主要12債権に指定されたものについては、達成目標を定め未収金の削減に取り組んでいる。その他の債権についても定期的な催告を行い債権回収に努めている。福祉局で管理している債権の中にはかなり古いものも含まれており、早期に解決に向けて取り組む必要がある。適正な債権管理業務を遂行していきたい。

危機管理室 さとう まちこ (垂水区)

さとう 議員 阪神・淡路大震災クラスの大災害を想定し、女性や子供に対する犯罪を防止するような避難所運営ができるのか伺う。



▶**福井室長** 警備会社と災害時における警備業務等に関する協定を締結し、警備員による巡回、警備の実施ができるよう準備を進めている。熊本豪雨災害の際、派遣され、避難所運営を経験した女性職員からもヒアリング等を行い、ネットモニター等も活用しながら、女性の視点を取り入れた避難所運営が行えるよう、今後とも研究していきたい。

一般質問 日本維新の会神戸市会議員団による質疑・要望

令和3年度定例会市会(第1回/第2回)

第2回定例会市会 9月議会 川口まさる 議員

川口 議員 外郭団体の見直しについて 外郭団体の見直しについて質疑した際、市長は「廃止あるいは団体の業務の縮小や統合も含めた抜本的見直しが必要である」と答弁された。その後「外郭団体マネジメント推進本部」を立ち上げ、見直しを進めているが、議論の内容やプロセスは公表されていない。できるだけ公表すべきと考えるが見解はどうか。



▶**今西副市長** 外郭団体の見直しの進め方の一つとして、外郭団体に、求められる役割や使命等のミッションを提示し、ミッションを達成するための経営改革プランの策定を求めている。今年度中に全ての外郭団体について策定し、公表したい。翌年度以降「外郭団体マネジメント推進本部」において、必要な指導・支援を行い、経営改革プランの進捗状況についても評価検証し、公表したい。

第1回定例会市会 6月議会 高橋としえ 議員

高橋 議員 コロナ禍でのいじめ対応 12歳以上を含む児童・生徒へのワクチン接種の動きが加速化していくが、ワクチン接種をしない児童・生徒に対して、いじめや差別の発生が懸念される。教職員へワクチン接種が任意である事を理解して頂くとともに、児童・生徒に対して、ワクチン非接種者への差別禁止に関する啓発の時間を設けていただきたい。また、コロナ禍になって学校園において、新たないじめ等の心配事案の報告はあったのかお聞きしたい。



▶**長田教育長** 残念ながら、コロナに関するいじめの報告はいくつか上がってきている。授業等を通して、これまでも いじめ・差別・偏見が起こらないように取り組んできたが、今回のワクチン接種ということも含めて、いじめは絶対許されるものではないという事を児童・生徒にしっかりと伝えて、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めたい。

費用弁償の見直しにより交通費実費支給が実現しました!

議会費年間
1500万円
DOWN

費用弁償とは、神戸市会では議会開催日には交通費を想定して徒歩やマイカーで来て1日当たり3000円~5000円(区によって違う。例えば、中央区3000円、北区の一部や垂水区、西区5000円など)支給されるものです。

私たち維新会派の提案により、「議会費削減検討委員会」が結成されました。

「費用弁償廃止」「視察費削減」「議員報酬削減」「政務活動費削減」の4点について各会派で協議されました。

その中で「費用弁償の見直し」が全会派一致で可決されました。残念ながら他の3点は意見がまとまりませんでした。

これにより議会費が年間1500万円削減されることとなります。

健康局 住本かずのり (須磨区)

住本 議員 新型コロナの若年層の感染が増えている現状では、軽症者や無症状者が増えると思われる。そうすると自宅療養者や宿泊療養施設利用者が増えると考えられるが、今後の往診、電話、オンライン対応の医師の更なる確保が必要と考えるが、

▶**花田局長** 医師会に応援依頼しているが更なる体制充実、早期発見、早期診療のために人材派遣とか個人委託の医師とか非常勤採用など医師を増やしていく募集も考えたい。

住本 議員 大阪、伊丹、尼崎市でも導入している夜間休日などでもオンライン診療で対応できる「ファストドクター」などの事業者を使用し、あらゆる手段で往診医師確保が必要である。

経済港湾局 山本のりかず (北区)

山本 議員 神戸市内の里山整備について、竹林などの伐採に必要な機材(ツッパ等)の購入補助などを実施しているが、伐採後の竹や枝についての活用見通しはどのように考えているのか。

▶**榎野副局長** 令和元年度においては3地区、令和2年度には8地区の補助実績がある。竹林で伐採したものは現場で土留めに活用したり、チップでその場にまいたりという活用もされている。

山本 議員 例えば、再生可能エネルギーなどの熱エネルギーに利用できないかどうかを環境局と一緒に検討することを要望します。

教育委員会 三木しんじろう (中央区)

三木 議員 語学学習について、オンラインの活用、パソコンの利用効果は大きいと思う。ALTによるネイティブスピーカーの英語の支援、動画の学習ツールも含めて実現化できないか?

▶**松本教育委員会事務局担当部長** ALTによる英語のやり取りを行う動画を作成し、各学校の子ども達に提供、今後は動画作成を増やしコンテンツを充実させていきたいと考えている。また、教科書のデジタルコンテンツの有効活用や効果的な指導の方法を全市にも発信していきたい。子ども達が日常的に英語に触れる機会を充実させ、英語でコミュニケーションを図ることが出来るグローバルな人材を育てていきたいと考えている。

交通局 黒田武志 (西区)

黒田 議員 顧客満足度の向上について。デザイン都市・神戸を目指す上でも、多額の投資を行わなくてもお客様目線に立つて少しの気遣いで改善できる点は多々ある。市民、また利用者が気持ちよく駅やバス停を利用できるように改善を図るべきと考えるが、いかがか。

▶**児玉副局長** 汚れている減便ダイヤの時刻表は至急新しい物を用意した上で、改めて掲示を行った。大きな費用をかけることなく、例えば地下鉄のモデル駅を指定し、標準的なやり方を定めて各駅に展開していく。気持ちよく快適に御利用頂けるような環境づくりを進めて参りたい。

建築住宅局 つじやすひろ (東灘区)

つじ 議員 児童養護施設入所者については、退所後独り立ちを余儀なくされ、経済的に困窮し、生活に行き詰まるケースがあると聞いている。児童養護施設退所者への居住支援について伺う。

▶**根岸局長** 児童養護施設退所者においては、家賃負担や保証人確保等の面から住宅の確保が難しく、その居住支援を行う事が施設退所後の自立支援にも繋がると認識している。市営住宅の空き住戸だけでなく、民間住宅の活用も検討していく必要がある。どのような支援が可能か、こども家庭局と連携しながら、児童養護施設の意向もよく伺った上で検討していきたい。

教育委員会 ながさわ 淳一 (長田区)

ながさわ 議員 不登校対策について、小・中学校における長期欠席者は、令和2年度は2,734人と、急増している状況に真摯に向き合い、対策を強化する必要がある。最も大切なのは1人1人に寄り添い、働きかけや関わりを粘り強く続けていくことだ。対策の強化に当たっては、不登校対策に関わる担い手を増やすことが重要だ。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどについては、さらなる配置拡充を努めていくべきだし、専門に対策するチームをつくることも検討して頂きたい。また、フリースクールとの連携強化も必要となる。